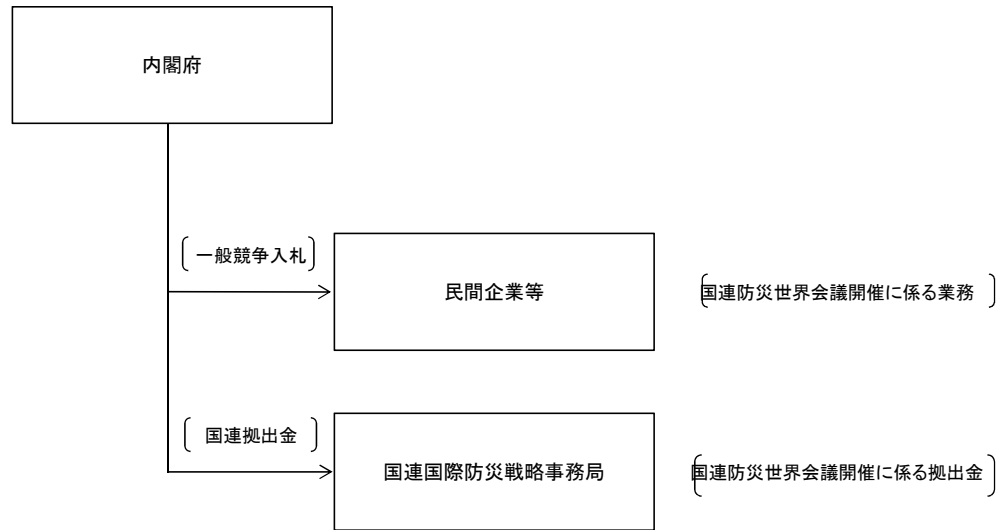


平成26年行政事業レビューシート (内閣府)

事業名	国連防災世界会議開催経費		担当部局庁	政策統括官(防災担当)		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成26年度限り		担当課室	参事官(普及啓発・連携担当)		齊藤 馨		
会計区分	一般会計		政策・施策名	36 国際防災協力の推進(政策11-施策②)				
根拠法令(具体的な条項も記載)	内閣府設置法(第4条第3項7号の6)		関係する計画、通知等	-				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	2005年1月に兵庫県神戸市で開催された第2回国連防災世界会議で採択された「兵庫行動枠組(HFA)」の後継枠組(ポスト兵庫行動枠組)の策定等を行う第3回国連防災世界会議を、平成27年3月に仙台市で開催し、その機会に、我が国の東日本大震災をはじめとする幾多の災害を通じて得た貴重な経験や知見、被災地の復興の現状等を世界に発信する。							
事業概要(5行程度以内。別添可)	・ポスト兵庫行動枠組の策定、ハイレベル宣言等を行う本体会議の実施 ・総合フォーラム、シンポジウム・セミナー、展示、スタディ・ツアー等の関連事業の実施							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額(単位:百万円)			23年度	24年度	25年度	26年度	27年度要求	
	予算の状況	当初予算	-	-	-	508	-	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-	
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-	
		予備費等	-	-	-	-	-	
		計	-	-	-	508	-	
	執行額		-	-	-	-	-	
執行率(%)		-	-	-	-	-		
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標		/	単位	23年度	24年度	25年度	目標値(26年度)
	第3回国連防災世界会議への首脳含む関係級の出席者数	成果実績	-	-	-	-	-	
		目標値	人	-	-	-	44	
		達成度	%	-	-	-	-	
	成果指標		/	単位	23年度	24年度	25年度	目標値(26年度)
	第3回国連防災世界会議の本体会議への出席者数	成果実績	-	-	-	-	-	
		目標値	人	-	-	-	5,000	
		達成度	%	-	-	-	-	
	成果指標		/	単位	23年度	24年度	25年度	目標値(26年度)
	関連事業含む第3回国連防災世界会議への参加者数	成果実績	-	-	-	-	-	
		目標値	人	-	-	-	延べ40,000	
		達成度	%	-	-	-	-	
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		/	単位	23年度	24年度	25年度	26年度活動見込
	地域プラットフォームへの出席	活動実績	-	-	-	-	-	
		当初見込み	回	-	-	-	7回	
単位当たりコスト	算出根拠		/	単位	23年度	24年度	25年度	26年度見込
	-		単位当たりコスト	-	-	-	-	
			計算式	/	-	-	-	
平成26・27年度予算内訳(単位:百万円)	費目	26年度当初予算	27年度要求	主な増減理由				
	災害関係調査費	150						
	国際防災戦略事務局拠出金	358						
	計	508	-					

事業所管部局による点検・改善						
項目		評価	評価に関する説明			
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	我が国は、第3回国連防災世界会議のホスト国として、ポスト兵庫行動枠組の策定、ハイレベル宣言等を行う本体会議の実施するとともに、総合フォーラム、シンポジウム・セミナー、展示、スタディ・ツアー等の関連事業の実施し、我が国の教訓や知見、防災技術や防災体制の仕組み等を世界に発信するとともに、東日本大震災からの復興の現状の発信及び被災地の振興に資する必要がある。			
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○				
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○				
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	一般競争入札により支出先を選定する予定 会議開催に必要なものを計上している			
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-				
	単位当たりコストの水準は妥当か。	-				
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-				
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○				
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-					
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	-			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-				
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-				
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	-		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検・改善結果	点検結果	我が国は、第3回国連防災世界会議のホスト国として、ポスト兵庫行動枠組の策定、ハイレベル宣言等を行う本体会議の実施するとともに、総合フォーラム、シンポジウム・セミナー、展示、スタディ・ツアー等の関連事業の実施し、我が国の教訓や知見、防災技術や防災体制の仕組み等を世界に発信するとともに、東日本大震災からの復興の現状の発信及び被災地の振興に資する必要がある。				
	改善の方向性	-				
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	事業の適切な進捗管理、契約における競争性の確保などにより、予算の効率的執行に留意すべき。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	今後も効率的な予算執行に努めたい。					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成23年	-	平成24年	-	平成25年	新26-0001	

※平成25年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
 (単位:百万円)

A.			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックごと
 に最大の金額が
 支出されている者
 について記載す
 る。費目と使途の
 双方で実情が分
 かるように記載)

